



式中だより

450号

令和7年(2025年)

3月14日(金)

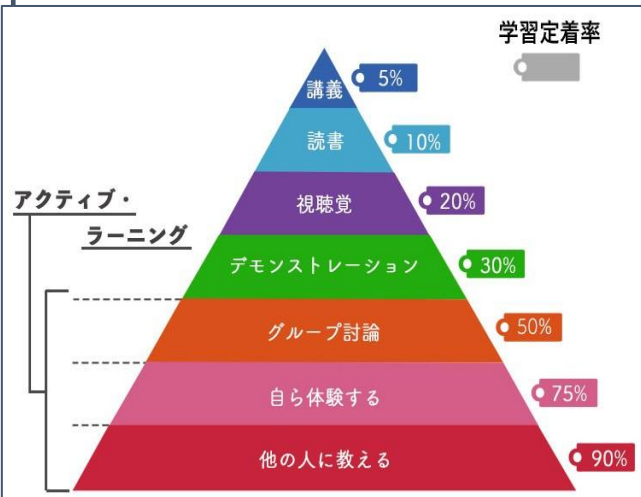
発行 式根島学園 式根島中学校

04992(7)0017

「教わるから教えるへ」

校長 河津 力

令和6年度が終わろうとしています。いよいよ19日(水)に9年生の卒業式を迎えます。保護者、地域の皆様には、この9年間にいろいろな場面で生徒たちを支えていただき誠にありがとうございました。4月から将来の夢に向かっての新しい一歩を踏み出す9年生の健康と健闘を心から祈ります。



さて、左の図は、学習方法と学習の定着率との関係を表したとされる「ラーニング・ピラミッド」です。講義を受ける学習法の定着率が5%なのに対し、他人に教える形の学習法では90%の定着率があるとのこと。「令和の日本型学校教育(答申)」で示された「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実という授業づくりのポイントと重なります。中学のどの学年の教科学習や総合的な学習の時間等で、討論や体験型、複数学年での学びを行おうと、図の下3層「アクティブ・ラーニング」の実践に挑戦しているところです。

マラソン大会を終えて

体育的行事委員会担当

天候により、延期になりましたが、3月7日(金)にマラソン大会を実施することができました。体育の持久走の授業で生涯スポーツの関わり方の視点を学びました。それを生かし、中学生は小学生の伴走と記録を行い、運営をサポートする形で参加しました。新記録を目指す小学生を牽引し、励ましの言葉を掛けながら伴走をし、上級生としての役目を立派に果たしました。地域の皆様、温かい目での見守り、声援や拍手をいただきありがとうございました。

今年度の教育活動を振り返って

教務主任 中山 静寿保

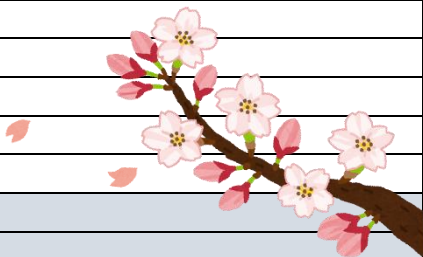
今年度の教育活動に対して保護者の方々、地域の方々の御理解、御協力をいただきありがとうございました。今年度も授業や学校行事等で、生徒は意欲的に取り組むことができました。

特に、島の子発表会で発表した「式根島未来会議」と「修学旅行・キャリア教室」では、各自が課題を見付け、グループやクラスでの話し合い、課題解決のために十分に考え、体験的な学習の取組に向け創意工夫もし、貴重な学習となりました。

今後も生徒一人一人が自信をもって活動できるよう、指導をしていきたいと思っています。

4月の予定

7	月	始業式 学園入学式
8	火	オリエンテーション
9	水	式根島学園テスト(全学年)
10	木	学園保護者会 避難訓練
11	金	生徒委員会
12	土	
13	日	



各学年の担任より 1年間を振り返って

9 学年



5人となってスタートした4月からあつという間の1年間。学校生活だけではなく、行事にも全力で取り組みました。お互いの個性を認め合い、困っている人に手を差し伸べる優しさ、大変な時こそ元気にいつもどおりに過ごす思いやりや温かさが、クラスの絆を深め、穂のように実り豊かな関係を築いてくれました。皆さんの未来が、美しく、偉大で、愛に満ちた実り多いものとなることを心から願っています。5人と出会えて幸せでした。ありがとう。

8 学年

できることが大きく増えた1年でした。それぞれに、自分のために頑張る目標が見え、成長に向けた本質的な課題に向き合い努力することができています。そして、それぞれが努力の成果を出すことができ、担任として成長に立ち会えることを嬉しく思います。人は自分の目標に対して、全てが完璧ということはそうそうありませんが、その不足に感じるところが、更なる成長の種であると思います。これからも前を向いて一生懸命進んでいってほしいと思います。



7 学年

この1年間、授業やキャリア教室をはじめとする様々な行事等を通じて、生徒たちが大きく成長する姿を間近で見ることができ、担任としてとても嬉しく、毎日楽しく一緒に過ごすことができました。保護者の方や地域の皆様の御理解と温かい御支援に、心から感謝申し上げます。これからも生徒たちの成長を共に見守り、支えていきたいと思っています。1年間ありがとうございました。



波ようねりよ

小学生の頃に読んだ星新一の「幸運のベル」という作品が今でも好きだ。舞台は販売促進の為、全ての企業が商品に当たりを付けるようになった近未来。当たりの商品からは微量の放射線が出ていて、包装紙を破くと備え付けのベルが鳴り、莫大な賞金が貰える。主人公は、賞金を超える額を浪費してもなお当たりを探すことがやめられず、その虚しさから自ら命を絶つことも考える程の男で、物語の終盤、ついに男は当たりの商品を見付け出すのだが、最後は「彼は、大声で笑い、泣き、そして笑い、そのあとはいつまでも泣きつづけていた。」という一文で締めくくられる。

男は人生の目標の達成を運に任せ、幸運のベルが鳴る日をいつまでも待ち続けた。ようやく鳴ったベルは果たして男に幸運をもたらしたのだろうか。私は自分の人生の目標を運や他力本願で達成したいとは思わない。自身の努力で達成したその先にいつまでも笑い続けられる未来があるのではないだろうか。

